

2020 年（令和 2 年）の世界の年平均気温（速報）

2020 年の世界の年平均気温偏差（1981～2010 年の 30 年平均値からの偏差）は $+0.47^{\circ}\text{C}$ （1～11 月の期間から算出した速報値）で、統計を開始した 1891 年以降で、最も高い値となる見込みです。また、最近 7 年（2014～2020 年）は、すべて歴代 7 位以内となる見込みです（第 2 位は 2016 年の $+0.45^{\circ}\text{C}$ ）。世界の年平均気温は、長期的には 100 年あたり 0.75°C の割合で上昇しており、特に 1990 年代半ば以降、高温となる年が多くなっています（図 1）。

2020 年の地域別の気温では、ヨーロッパから東アジアにかけて、オーストラリアなどで高温となったほか、海域では北太平洋やインド洋を中心に広い範囲で高温となりました（図 2）。また、2020 年の月別では 1～11 月は歴代 4 位以内、季節別でも全ての季節で歴代 4 位以内となりました。

近年、高温となる年が頻出している要因としては、二酸化炭素などの温室効果ガスの増加に伴う地球温暖化の影響が考えられます。また、エルニーニョ現象やラニーニャ現象などの数年程度から数十年程度の時間規模で繰り返される自然変動の影響も受けて変動していると考えられます。2020 年が歴代 1 位の高温となった要因としては、地球温暖化の影響と海洋や大気における自然変動の影響が考えられます。

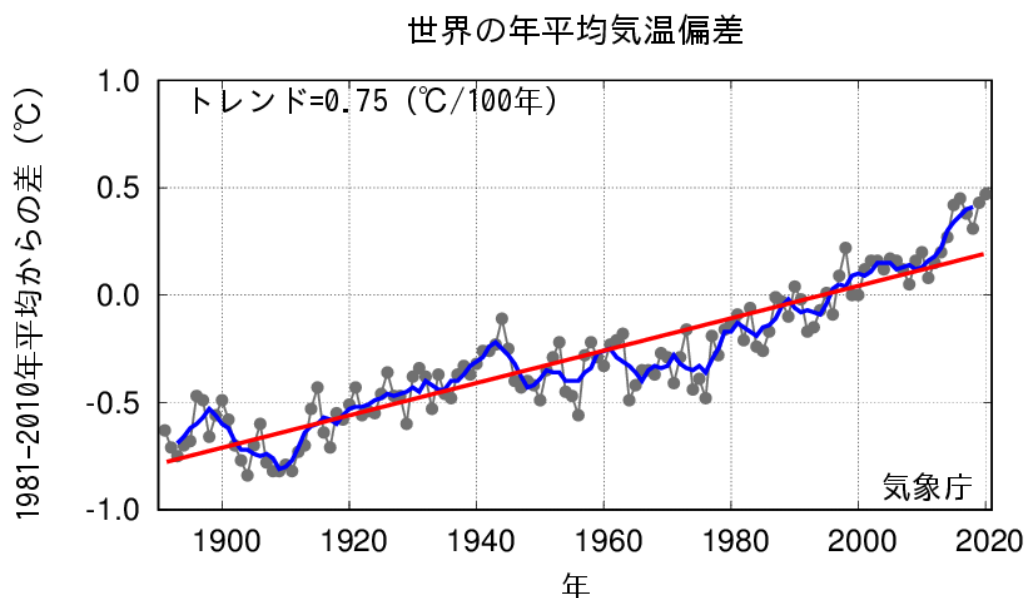
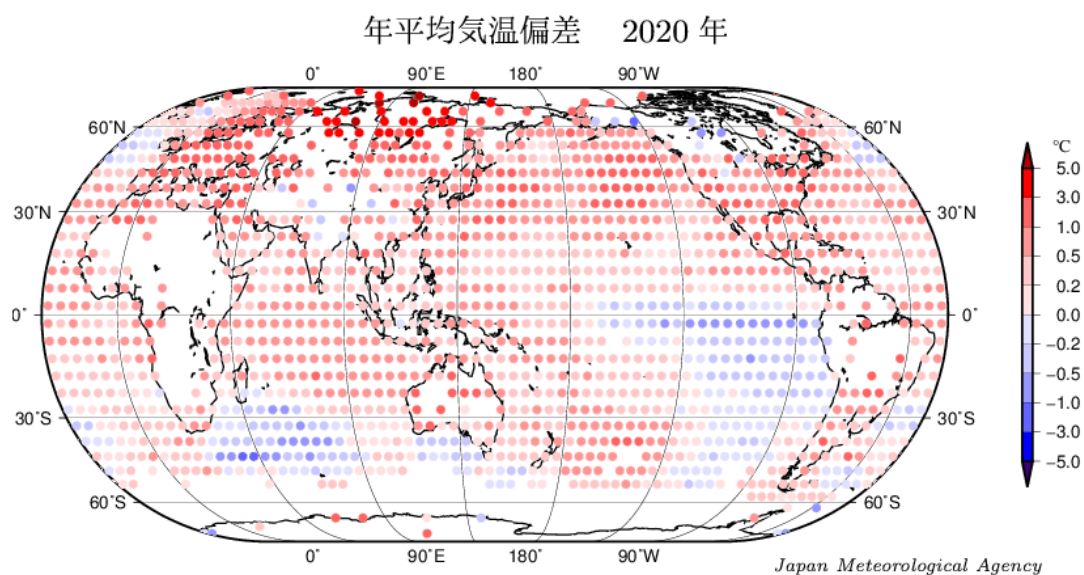


図 1 世界の年平均気温偏差の経年変化（1891～2020 年、速報）

黒線は各年の基準値からの偏差、青線は偏差の 5 年移動平均値、赤線は長期変化傾向（この期間の平均的な変化傾向）を示す。基準値は 1981～2010 年の 30 年平均値。



図中の丸印は、5° x 5° 格子で平均した 1981-2010 年からの偏差を示す。

図 2 2020 年の年平均気温偏差の分布図（速報）

各観測点の 2020 年の年平均気温偏差（速報値）を緯度、経度 5 度の領域ごとに平均した値で示す。

参考：世界の年平均気温の順位（上位 10 位まで、速報）

世界		
順位	年	気温偏差 (°C)
1	2020	+0.47
2	2016	+0.45
3	2019	+0.43
4	2015	+0.42
5	2017	+0.38
6	2018	+0.31
7	2014	+0.27
8	1998	+0.22
9	2013	+0.20
	2010	+0.20

本資料は、2020 年 1~11 月までの観測データをもとに、速報としてまとめたものです。世界の年平均気温の確定値は、2021 年 2 月初めにホームページ（下記 URL）で発表します。また、同ページにて年別・季節別・月別の世界及び日本の平均気温を随時更新・掲載しています。

<https://www.data.jma.go.jp/cpdinfo/temp/index.html>

